

加茂——(菓子) 宮島春齋(七七ノ八)

迪宮裕仁親王

皇長孫殿下の御降誕 (三三ノ一)

水

火ト——(番舟) (四一四ノ三九)

水あひ祝ひ

—— 土狂子 (二〇六ノ八)

水飴賣

——「田」 雙陽生 (二一六、七、甲、雙世渡種ノ内)

三井三郎助

逝ける——氏 (四三二、四〇)

水祝

—— 黙庵主人 (四六ノ八)

——、墨室隆 山下重氏 (一〇七ノ一六)

水賣

—— 秋の屋主人 (三八九ノ一〇、江戸風俗句解ノ内)

今様職人盡——の詞書に就く 給馬屋主人 (九五、

一二)

水屋「内」 うきよ (一五〇、三三、江戸市中世渡種ノ

内)

昔の——「内」 (一九ノ裏絵)

水掛祝

薩州鹿兒島花智——の曲解「内」 (六四ノ六)

水籠の祝

上田——(四六) 金井魁母 (一〇七、二〇)

見附輝。祭礼

遠江國——(四六) 芝山道人 (三七六、三)

水取式

奎良二月堂松明及—— 平尾夢外 (五三、七)

奎良。—— 画報生 (三九五、一三)

壬辰

—— 河名雅齋 (二六七、一〇)

水野滿

故臺灣民政局長水野氏銅像除幕式 横石河佐

(二六五、八)

蜜蜂

——(四八) 醉霞居士 (一四二、二六、一四四、二七、一四六、二三、

二四八、三三)

——の大葉窟 画報生 (二七七、一五)

伊太利神——图解(四六) 宮島大鼠 (二五五、一八)

水引職

——图 尾形月耕画 對原堂主人解 (四九、一〇、新

撰石工图解其十)

水戸

——割記 三田村玄龍 (三五九、三八、三六二、四一、三六六、

三八)

三留野 (長野縣西筑摩郡讀書村)

——と野尻 紅の家おひろ (四二、一、二五)

三ノミト

四百九十六

水戸藩

—の兵糧 廣田星橋 (三一八ノ二七)

四—士御贈位の傳道 (四二四ノ一〇)

水戸烈公 正徳川齊昭と見よ

皆川城 (下野國下都賀郡皆川村)

—址及其附近名蹟 琴籠庵 (三七九ノ三三)

南綾瀬村

— (大日本名所圖會第七十九冊、東京近郊名所圖會第四、東部の部其一、内)

南島

—の風俗 (三九四ノ二三)

源義親

—の墓 狩野國市 (四四七ノ二四、山陰風土記ノ内)

出雲國八束郡美保間村 —墓(圖入) 小川寅一郎 (三三〇ノ三八)

源義經

判官義經の事跡(圖入) 伏藤古玩 (二三七ノ二四)

義經北去の俚語 今井貞吉 (四九ノ二三)

源頼朝

頼朝の不徳と東鑑記者の不見識 山下重氏 (三九七ノ三二)

峰入

大和犬 — しいた生 (三七二ノ二五)

美濃國

三十一
四百九十七

美濃の古蹟 華陽山人 (三二〇ノ四)

箕面山

—— 三輪青谷 (一三七ノ二九)

美濃輪稻荷

駿河清水の —— 香雪 (二八三ノ四)

壬生狂言

—— (四〇九ノ二四)

京都 —— 霞蝶園香齋 (五三ノ一一)

京都 —— 焔魔堂狂言略記「用入」 鈴木錦水 (二八ノ

一九)

三重縣

三重岐阜愛知縣名所のいみ 一風庵生 (三三〇ノ三四)

三重縣製造品々評會

—— 関場式量況 園風生 (一七六ノ五)

美作國

美作加茂川沿岸の風俗「用入」 美波清其 (三四一ノ一四)

已侍

—— 忍々周辨天考圖 (六五ノ四七、江戸歳事記ノ内)

耳垢取

—— 西報生 (二七六ノ六) 西 (二七三ノ内)

明如上人

西本願寺葬式圖會 (二六六)

宮城野

萩の —— 石倉翠葉 (一七二ノ三二)

三ノミヤ

四百九十八

都踊

霞蝶園主人 (三九、一四)

宮島春齋 (二四、三一)

宮島春齋 (二四九、二、一四一風、内)

と鴨川踊 春齋主人 (四二二、二七)

京都—唱歌 永井李蹊堂 (三三八、二〇)

京都祇園— 巴足袋 (四三、一九)

京の— 霞蝶園主人 (三一四、二六)

京の— 霞蝶園主人 (三六六、二三)

宮崎文庫 —と林崎文庫 荒本田晃重 (三一四、一七)

海山道 稻荷 (四日市附近)

—の祭典 伊達虎峰 (三一四、四)

宮考

—「古園」 山下重氏 (二〇〇、八)

—「園」 西川祐信画 (七〇、四、七風俗一代鏡第十

二園)

—の図 尾形月耕画 (二〇二、表紙)

嬰児—の図 (六七、六八、江戸歳事記、内)

中古—の辨 川崎千虎 (九、一三、一〇、七)

三輪神社

杉の若所三輪の神山 飯田蓋山 (四五四、五)

ムア中將

— 歡迎

画報生

(三四六ノ五)

六日年越

— の事

荒木田晃重

(二二五ノ五、五ノ十、五ノ十、五ノ十)

内

迎の火

七夕と — 「高岡永洗画入」

乙羽

(四四ノ九)

向島

— の昔

(四六九ノ三三)

隅田堤、新撰東京名所図会第十二編至第十四編

△キリシヤ
(一六一、一六二、一六七)

琴打至琴搗歌

上總地方

蘆園家 (四一、一〇)

琴湯女

―「内」

志づか

(一三五、三一、江戸市中世渡り種

、内)

刺ヶ日

―の暑種汁

河名雅齋 (二五五、八)

むさし遊戯

児童遊戯「内」

榎野羊解

(一五六、五、京都風俗十二

月、内)

武藏野

―の図

山本松谷画 (二七三、首)

典 食用虫類を以て見よ

秋の―

有水生

(二七六、二七、二七八、三一)

虫賣

―「内」

渡部乙羽

(三一、二)

―「内」

花添生

(一三二、三〇、江戸市中世渡り種、

内)

―の図

山本松谷画

(二二、表紙)

加賀の―

南山人

(四七〇、九)

京都の―

渡田如洗画

(四四九、首)

虫送り

伊勢國三重郡四郷村の―

一、二、三生

(三四九、四)

△シ

五百

尾張津島町附近の—— 花東一佳 (三三七ノ九)

四日市の—— 對月庵虎峰 (二七三ノ七)

奥 逐し

備前國御野郡の——「因入」 うきよ (三二六ノ二)

奥 聴

秋草および——の記「因入」 渡部乙羽 (三三ノ二〇)

雅園——の圖 山本松谷画 (二五九ノ一六)

聴奥 山下重氏 (五八ノ一五)

奥 拂

—— 山下重氏 (三二ノ一四、三三ノ二一)

——に就て 空洞山人 (四ノ一四)

寺院什寶曝涼圖 (六五ノ四六、江戸歳事記ノ内)

奥 干の圖 山本松谷画 (二二ノ表紙)

土用干「因入」 宮島春齋画 (二二ノ六)

土用干「宮川春汀画入」 (四七ノ一一)

奥 目鏡

——「因入」 うきよ (一五四ノ三三、江戸市中世渡り種)

(内)

奥 除

山口縣美禰郡——の奇習 佐藤菊三 (一五〇ノ一一)

武者行列

甲冑行列 (三九七ノ一一)

陸奥國

—— 南津輕郡浅瀬石川沿岸人民の風俗「因入」 根岸

逸人 (一四六ノ三一)

六ッ美村 (三河國碧海郡)

悠紀齋田の——千種堂常城 (四五六ノ三三)

棟越餅

信濃國南佐之郡川上地方の——小山每水 (三三二)

一七)

上棟

——注落成式(古圖入) 山下重氏 (二〇〇ノ六五)

土佐高知——投物 伏藤楠太郎 (三四ノ九)

郁子

——(圖入) 笹の家 (二三八ノ三八)

——の説に就て(圖入) 堀内璋左右 (二四〇ノ一八)

無名異

—— 石川鷗齋 (五〇ノ二〇)

村居田御陵 (世江國)

—— 観音寺 西川捨三 (三二二ノ三八)

紫草

——(圖入) 醉霞居士 (五六ノ二二、五六ノ二五、七〇ノ二〇)

村瀬氏家室及び庭園

—— 笹の家 (二三八ノ一四)

室生寺

——(圖入) 岡田竹雲 (二六一ノ二〇)

目

下たう目番附 (四三四、四〇)

目 聖不動 「不動をい見よ」

——に就て疑を質す 瓦全生 (四五九、四六)

名勝四蹟 「三江ノ、各所」 其地各地をい見よ

諸國偽古蹟 微笑小史 (二七八、三一)

才邦——百對 微笑小史 (三二九、二七)

名所四蹟 野口勝一 (六四、一)

名勝保護

勝景保護の必要 岡村百尺 (三八七、六)

三〇

五〇四

迷信 子孫祀の俗談、子孫殿をも見よ

——を利用せる裁判(臺灣) 焚石酒徒 (二五六、四

七)

——禁急の起因 森三漢 (四五九、二、四六〇、九、四六一)

二、四六三、四)

——雜録 焚石酒徒 (四一〇、二四)

京都の—— 巴足袋 (四七三、七)

藝妓屋の縁喜かき 田口年信画及解 (二六〇、二、

浪花風俗百図(内)

死尸に對する—— 永井李蹊堂 (三五二、三七)

信州の—— 小澤半堂 (三八八、二七)

俗間——録 坪川辰雄 (二三〇、三八、二三二、三九、二三八)

三四、二四〇、三一、二四一、三三、二四九、三三、二四七、三六、二五三、四四、

二五八、三九、二六〇、四三、二六一、四二、二六七、四一)

動植物に對する——(臺灣) 焚石酒徒 (二五八、三九)

名古屋地方の御幣擔かき 花東一佳 (二四二、三六、二五二、

四四)

明治維新 子龍虎隊をも見よ

明治元年正月元日皇居御門前の圖、今年正月二日会津

兵伏見京橋に上陸の圖 杉岡正盛画 (三四六、首)

解 (三四六、二四)

錦の御旗、二周解、四條五條首級の實檢、大將軍土阪城

燒址御覽 松岡緑堂画 (三七四、九)

錦の御旗圖、大將軍土阪の軒家街上陸、同西本願寺着

御 松岡緑堂画 (三七六、一〇)

征討大將軍大坂八軒家中上陸、四条五条兩御首級の實

檢圖 (四〇一、八)

戊辰奇聞(因入) 蓬軒居士 (六〇、一四、六六、四、六六、一五)

明治記念博覽會

— (四四八、一七)

明治大學

— の焼失(明治四十五年三月五日) (四三一、三五)

明治天皇 甲辰銀婚式祝典をも見よ

— 御一週年祭に就し (四四八、一)

先帝と名古屋 三浦常太郎 (四三九、七)

民のまごゝろ(写真入) (四三七、七)

風俗画報、御大葬并稱 (四三八)

名物 「三江戸」(京都)、「東京」(餅)、其他地名の下をも見よ

三都り — 黄眉山人 (四八、三七、四九、二九)

諸國 — 護 微笑小史 (三三九、一九、三四一、三八、三四三)

一六)

諸國 — 類集 (二〇、一四、二一、二二、二二、二〇)

諸國飲食の — (二二、二七、二七、二四、二二、二八、二四、

二二、一三、二二、一八、二二、二一、二二、二七、二四、二二、二五、

二二、二九、二二、二一、二二、二五、二七、二二、二八、二九、

二四、一三、二四、二四、二四、二九、二四、二七、二四、二九、

二五、二四、二五、二七、二五、二六、二六、二二、二四、二二、

二六、二八、二六、二四、二七、二五、二七、二〇、二七、二六、二六、

二七九、二四、三〇、七、二六、二一〇、二四、二二、二二、二二、二四、二六、
二一六、二二、二一八、一八、二二〇、二二、二二、二二、二二、二四、二四、
三三二、一八、二二八、一六、三四六、一七、二六、一八、二六、一八、
三七一、一九、二八、二〇

東海通の各驛 — 春庭舎すみれ (三四ノ二〇)

名木 山樹木を見よ

命名

— 山下重氏 (二〇ノ七)

妙観院

能登 — 五峰庵 (二七ノ二二)

妙成寺 (能登園)

金榮山 — 五峰庵 (三五四ノ四一)

妙法寺

五峰の内 — を見よ

眼くし遊び

刀のえがいたるをいも見よ

妾

月きりのかこひしり、— の目見は圖 一陽齋豊國

画 (四〇ノ一六、繪本時世粧ノ内)

目鏡

二八角 — 二〇器 — を見よ

目黄不動

ヲ不動をも見よ

— 庄司瓦全 (四五六ノ三七)

— と明曆不動の辨 庄司瓦全 (四五七ノ八九)

め組の喧嘩

め組の半鐘 (四六五ノ七七)

目黒不動尊

— 境内の浴場「山本松谷画入」 山下重氏 (二四六)

(二)

目黒村

— (大日本名所図会第八十四冊、東京近郊名所図

会第九、南郊の部其五ノ内)

— 上目黒 (大日本名所図会第八十八冊、東京近郊

名所図会第十三、西郊の部其一ノ内)

飯

食飯の沿革 山下重氏 (二〇四ノ一六)

食飯の補遺 芝山道人 (二〇六ノ一九、二〇八ノ一七)

魚鳥—類 方寸舎 (二六四ノ三二)

鯖
眼兒

— の變種 古川憲 (二三三ノ二一)

眼
白啼調會

— の番附 (三一六ノ二四)

雌
鳥巖 (かま國山中温泉近傍)

— 九谷きの字 (三二〇ノ四二)

目
の子甚定

— の言葉 志津夫 (四五二ノ一四)

面
打職

— 圖 尾形月耕画 對原堂主人解 (五一ノ一二、新

撰百工圖其十二)

假面師「四」 花湊生 (一五六ノ三三、江戸市中世渡り種

ノ内)

めんがらうらうらう

—— 田口年信画及解 (二六八) 五、浪花風俗圖ノ内)

綿布會社

—— 内の栲亭(明治三十五年八月七日) (二五六) 四五)

天

蒙古

—— の相撲 五、相撲を見よ

—— の人情風俗 (三八五) 三〇)

東部 —— の風俗 知覧一兩 (四七一) 一八、四七二) 二一)

滿蒙の利源 木村直人 (四七三) 三三)

蒙籠車走

—— 太田吉村 (二五六) 五、石埦な渡世ノ内)

本魚講

—— (圖ノ) 多稼の屋 (一〇四) 三八、江戸市中世流ノ種

ノ内)

木具職

— 圖 尾形月耕画 對厘堂主人解 (四八八)

木食

— 船長 (四二四、二七)

木母寺

— の春雨、尾形月耕画入 山下重氏 (二二二)

三月十五日 — 大急佛圖 (六一、江戸歲事記、内)

木版師

— 圖 (一三八、裏絵)

しぐら打

— 左文郎 (四七六、五二、見し事聞きし事、内)

餅

— (三二四、六、民間行事新年の祝、内)

— 考 山下重氏 (一三二、八、二四、二)

— の、ハス、左文郎 (四七六、五三、見し事聞き

し事、内)

皆形 — 足形 — 塙忠韶 (三一六、一七)

諸國名物の — 坪川辰雄 (二〇六、一七)

小児の戴き — 川崎千虎 (一三ノ一七)

餅搗

— 菱川師宣画 (四五二、首)

— の事 荒木田見重 (二四、四、五十鈴の落葉、

内)

京都の — 官島春齋 (六二、二〇)

續—— 田口年信画及解 (三二、四、浪花風俗百图)

其一)

ちん餅をつく图 小林永濯画 (二二八、江戸歳事記)

图、歳暮交加し图、内)

長門下関市の—— 山本鴟城 (三三〇、三)

引ずる餅 (三七、一七)

富家——の图 中村百世解 (六四、二七)

吉原歳暮の——「喜多川歌麿画」 わ、ま (六三、一七)

餅搗り

—— 洗線生 (三五五、二六)

餅踏み

薩摩の—— 加藤尾花 (二二七、一七)

鶏の草子莖

——「田八」 甚の家 (一五二、二八、一五四、二八)

本居大平

大平が千蔭に興しし手簡 伊勢の浦人 (三九、三八)

伊勢名家手簡、内)

本居宣長

——荒木田之老に贈りし書簡 伊勢の浦人 (三七)

三一、伊勢名家手簡、内)

——か谷川士清に興しし手簡 伊勢の浦人 (三三)

二六、伊勢名家手簡、内)

——の手簡 伊勢の浦人 (三三、二七)

——の墓 廣田星橋 (三一八、四〇)

本山神社

羽後國男鹿島の——旭水樓主人 (一四ノ一六)

元結

——高橋おろか (三七ノ八)

きむか——考 ちかし男 (三四ノ一五)

物賣 職業、其他各——名姓に就て見よ

和泉堀の行商人 岡田竹雲 (三二ノ二三)

大台地方行商人の呼聲 小千文雄 (三八六ノ二二)

大阪小商人の呼聲 永井孝蹊堂 (三四六ノ一一)

甲斐國世渡種 (四六) 賀陽生 (二七二ノ九)

行商人の服装と呼聲 (伊勢四日市岐阜市) 泗水庵、

印井純一 (三五五ノ一〇)

行商人の服装と呼聲 (金澤市富山市) 五峰庵等

(三六四ノ二三)

京都現今行商人の圖及解 神坂雪佳画 牧の、翁

解 (三七ノ一七)

京都、——「圖」 濱田如洗 (三五二ノ五、三五七ノ二、三七二ノ

六)

京都婦人の行商 巴山人 (四七七ノ七、四七八ノ三)

四日市の—— 伊達虎峰 (三一八ノ六)

四日市の—— 春廼金莖 (三三八ノ九)

物見

屋敷の御——「圖」 蘆の葉 (三〇七ノ七、明治以前正

月の行事、内)

物貫し 己職業を山見よ

慶安頃の——図解 (五二ノ一四)

元三名古屋の——(今様むかし男)〔図入〕 (六三ノ二三)

ものよし

——図(物吉トイフ乞弓、類) (三八、久保田半僂色、維新前京)

新正月の様ノ内)

紅葉

——勝花 野口勝一 (二七六ノ一)

造菊および—— わた (二二ノ一四)

造菊と——の記〔図入〕 渡部乙羽 (三四ノ一六)

——の勝地案内(伊勢、大和、伊賀、丹波、近江、山城等)

敷島道成 (二二ノ一九)

合満の—— 秋元三有 (二一八ノ二三)

京の—— 千種堂婦城 (二二ノ二〇)

櫻ヶ淵と時、葉の——、那古野の—— 紅の家おひ

ろ (二二ノ二一)

大豆田村の—— 五峰庵 (三二ノ三一)

都下の—— 京春 (三二八ノ二二)

武州高雄山の—— 京春 (三二八ノ二二)

真間の—— 京春 (三二八ノ二二)

龍宮淵の—— 池田りけろ (二二ノ二一)

紅葉狩

—— 山下重氏 (五九ノ七)

— 山本松谷画口絵 花渡生 (一九八ノ二)

— の図 名和永年画 (一七ノ表紙)

— 補正(名和永年画入) 山下重氏 (六〇ノ二六、六二)

二九)

海晏寺看楓(山本松谷画入) 福岡袖浦 (一〇二ノ一二)

東海寺林泉看楓圖 (六七、六六、江戸歳事記ノ内)

紅葉山社参

四月十七日 — 三圖 (四、四、幕府年中行事、附圖)

モミ餅

京都府下岩倉村の — 梅幽居士 (三八ノ二二)

桃

— 花春興、圖 名和永年画 (七〇ノ首)

— の名所 坪川溪楽等 (二〇六ノ二七)

越中の国内山、 — 林 池田カゲヲ山 (二〇八ノ三二)

加賀国木津、 — 林 池田カゲヲ山 (二〇八ノ三二)

桃ヶ瀧

能登名所 — 五峰庵 (二六六ノ三九)

桃谷

難波 — の図 (七七ノ表紙) 解 (七七ノ一五)

桃花會

尾張一宮、 — (三八四ノ一七)

桃花祭

一の宮 — 三浦其月 (二五〇ノ一〇)

桃山御陵 三伏見 — を見よ

御一と称する由来 山下重氏 (六八)一、東本願寺

葬式周給ノ内)

紋附衣服

一 廢止論 寺井紫山 (三八六)一)

一 廢止論を讀む 山下重氏 (三八七)一)

一 廢止に就て山下君に答ふ 寺井紫山 (三八八)一)

一 廢止論に就き雨心寺井君に答ふ 山下重氏

(三九一)一)

一 廢止論に就き雨心山下君に答ふ (三九二)一)

紋所 雨心の紋をも見よ

一 の事 凶坂操囊 (七六)二〇)

一 の事 東附春海 (四七)二〇)

一 の事 萬里香 (四九)二三)

五

五

養育院慈善會

—「因入」 廣田金松 (二五二ノ一二)

八日堂 (信濃國山縣郡神川村大字圓分字圓分寺)

—「達磨市」と見よ

—「記補遺」 飯島晴笑生 (二三〇ノ二八、二三二ノ三八)

一月—「初市の記」 飯嶋晴笑 (四九ノ一九)

楊子

—「因入」 多稼の家 (一〇二ノ二六)

明治初年の—「場園」 (四〇四ノ一六)

養蠶 卍蠶業を見よ

楊枝店

浅草— 秋の屋主人 (三八八ノ一九、江戸風俗句解)

(内)

やむきや—「因」 初代豊國通 (五〇ノ二六、寛政年間)

諸侯令嬢社考「因」内)

洋服

—「外套」 画報生 (三〇七ノ三七)

京都の流行— (一二七ノ二七)

流行の—「画報生」 (三五五ノ三〇)

流行の—「写真入」 (三八一ノ一八、三八三ノ一七)

洋物舗

— 大田文次郎 (一二二ノ二一、近世創始高職業ノ内)

ヤウ

五五七

ヤウ

ヤ

養老園

(加賀國能美郡粟津温泉)

九谷きのり字 (三三九ノ三四)

養老の瀧

(美濃國)

以遊士 (三七ノ三六)

矢敷

「世三十三間堂」見よ

屋形船

秋の屋主人 (三八ノ二五、江戸風俗句解ノ内)

燒芋

「四ノ」 蘆の栗山人 (二二ノ九)

「の事」 奥村茂太郎 (四九ノ二五)

「八里半」 今様むかし男 (四一ノ一六、四三ノ二六)

燒芋屋

「四」 (六ノ七、江戸市中世渡り種ノ内)

燒印職

「四」 尾形月耕画 山下重氏解 (一六八ノ一三、新撰

百工圖其六十五)

燒栗屋

「四」 瀧田如洗 (三五ノ五、京都の物賣ノ内)

燒米

「」 今井貞吉 (五六ノ一三)

燒蛤

「」 及鯉取り 栗山寛一 (五一ノ二八)

陶物師

「四」 醉霞居士 (九五ノ八、今様職人畫圖解ノ内)

薬園

駒場元——紀事 久永章武 (二七三、二五、二七六、二四、

二七八、二四、二七九、二五、二八三、二七)

厄おとし

—— 黒崎修齊 (二八三、一二、浪元風俗百因、内)

薬師如来 (美濃國本巢郡牛牧村)

—— 土屋兵馬 (三三〇、三七)

矢口の渡

矢口津(内) 桔梗 (二七六、三〇)

矢口村

—— (大日本名所図会第八十六巻、東京近郊名所図

会第十一、南部の部其五ノ内)

役徳

賄賂—— 葎軒居士 (二六八、六、二七三、九)

厄拂

御本丸御座敷の——(内) 葎軒居士 (六四、一六)

八雲琴

——(内) 金子静枝 (七二、二四、七三、二五、七六、二六、七七、

二五、七九、三三)

薬王院 (加賀國江沼郡山代温泉)

——の櫻花 キの字生 (三三八、三三)

野菜 江戸青物市場をも見よ

陸奥蔬菜 今井貞吉 (四六、一八)

野菜賣

——男 宮島春齋 (一五〇、一六、京都賣物屋の風俗)

内)

八坂神社

——と多度神社 三千成 (四七六、三九)

八坂神社

秋田——の祭 積山史 (七七一、一五)

東湖——御神事祭式 外屋加水 (一四〇、三)

八塩鑪泉

—— 刀寧生 (二二七、二三)

靖國神社

——大祭「宮夏入」 (四三三、八)

——大祭日の改定 (四四一、八)

——臨時大祭「山本松谷画」 橋本繁 (二〇八、二)

——臨時大祭「園入」 画報生 (二四二、二)

——臨時大祭(明治四十年五月一日「園入」) 画報生 (三六四、二)

やすらひ花

京都紫野——の記「園入」 鈴木錦水 (四一、八)

屋臺雜 〆馬鹿囃子を見よ

又 〆馬場——を見よ

——風俗「園入」 宮澤浦浪 (六六、九、六六、七、六九、

二一、七〇、一五、七二、一六、七三、一五)

慶安——園解 (五一、一五)

八橋 (三河國)

——古蹟、附燕子花考 芝山道人 (二八、一七)

ヤスノヤツ

五七五

—の古蹟 大田多稼 (一四〇、三五)

—の古蹟 安祥山人 (三一六、三三)

ヤトセ踊り

京都流行 —「因入」 大川喜重北 (五〇、一四)

宿屋

—「因」(松川半山著、都風俗化粧傳所載、大和路三輪初瀬

邊—「の因」 (五七、二六)

天明年間道中筋旅籠屋之因 松村吳春画 (五五)

二八)

旅館の選擇 春草子 (四五六、二六)

寄生木

小倉の— 千種堂婦歌 (四二、二四)

柳かつら

—「因入」 奥田秋華 (五三、一二)

柳の赤赤かいる賣

—「因入」 花溪生 (一二二、三二、江戸市中世渡り種ノ

内)

柳橋

—と奥山の今昔 島田平雨 (四六六、一五)

やまきや楊枝店 子楊枝店を見よ

矢奈比賣神社

遠江岡見付町 — 祭典次第 神村直三郎 (一七〇、三)

東海道見付 — 祭礼 (四〇二、九)

屋根職

——田 尾形月耕画 對皇堂主人解 (七二、一四)

矢場女

——[四六] 渡部乙羽 (四七、一三、江戸市中世渡り種

其二ノ内)

八幡不知森

——[四六] 三浦九照 (一三八、三五)

八幡神社 (遠江國十笠郡東山口村字八幡)

八坂——、附神官譽田東福の事蹟 浅見竹太郎

(三六六、三五)

八幡塚

—— (大日本名所図会第八十七號、東京近郊名所図
会第十二、南郊の部其六ノ内)

八幡記

男山——[四六] 以洗生 (三七九、一〇)

彌彦神社

——の炎上 (四三一、三五)

數入

—— (三四、五五、民間行事新年の祝ノ内)

——小僧 江戸散人 (一八〇、三九)

流騎馬

觀——記[四六] 山下重氏 (二二、二一、二三、二四、三、一七、

二)

やまびな汁

—— 川崎茶六 (一五四、二五)

天文

— 図 (六六ノ裏給)

八百屋

— 〔圖入〕 瀧田如洗 (三五ノ六、京都ノ物賣ノ内)

— 図 (九二ノ裏給)

當世商人盡青物屋の圖 山本松谷画 (七七ノ首)

わ、ま解 (七七ノ一六)

八百屋お七

— 高橋おろか (三二ノ九)

— の演劇及び其實傳 山下重氏 (三二ノ七)

阿七の墓 (三四ノ四三)

山嶽

加賀の名山 嵯峨野 (二三ノ三四)

山遊ひ

幽館士女の — 瀬戸旭軒 (四二ノ八)

山形

— 河名文助 (二八ノ三五)

— 異聞 河名文助 (三八ノ二七)

— 地方の異俗〔圖入〕 わ、ろ (一〇六ノ一四)

— の初市 佐藤桂洗 (四六ノ四一)

— 初市の威飴及び白鬘 河名文助 (二四ノ八)

— 世渡神 河名文助 (三二ノ二七)

胡瓜天王と加子諏訪 河名雅齋 (二五ノ七)

公園地 河名雅齋 (二六ノ三四)

山縣大貳

—の墓碑 (二八〇ノ二)

山彦使

—「田入」 (八五ノ二、江戸市中世渡り種ノ内)

山公事

鐵火の事至ハ蒲生時代 —の判状 春二生 (二三八)

三三)

山代温泉 (加賀國)

— 丸谷キの字 (三五二ノ三二)

山寺 (羽前國東村山郡)

—の奇勝「写真入」 (三八九ノ二二)

大和國 北葛城郡を山見よ

大和紀遊 野口勝一 (一八〇ノ三五、一八二、三三、一八五ノ三〇、

二七ノ二六)

大和見聞雜記 畝火隱士 (三三八ノ七)

大和名勝紀行 渡部乙羽 (五三ノ二六、五五ノ二八、五七ノ二五)

山中温泉 (加賀國江沼郡) 此山鳥嶺を山見よ

— 丸谷キの字生 (三五九ノ三三、三七七ノ二七)

山笑水語「田入」 伊東白陽 (二二一ノ二二)

山中、鶴ヶ瀧 (加賀國)

— 五峰庵 (二七八ノ三六)

山猫

— 秋の屋主人 (三九一ノ一六、江戸風俗句解ノ内)

山の神祭

四日市 — 伊達虎峰 (三二六ノ七)

山手三十四番姓父靈場

府内 — 桔梗 (三五二ノ三二)

山吹

— の話 林天然 (三九七ノ二四)

山伏

— の装束「囀」 (四一〇、六一四、七〇二、八〇三)

楊梅

土佐の — 福島鳴波 (四四七ノ三九)

野郎

元禄 — 「囀」 (五一ノ一四)

寛政年代 — 年礼の囀 西川祐信画 花派生解

(一三二ノ一三)

寛政年代部屋子戯場唄の囀 西川祐信画 花派生

解 (二六ノ八)

野郎囀

元禄時代の — 久保田若糸 (三九ノ二三、四〇ノ一五)

由井正雪

—二百五十年祭 香雪 (三七六ノ三)

—墳墓の發掘 (四四二、四三)

静岡市に於ける — 墓ニテ所「写真」 (四二五ノ三六)

雪 二和 — 巻紙「吹」 — 毛足下

— 芝山道人 (八三ノ三八)

— 「園入」 武田醉霞 (六九ノ一七、七〇ノ六、七二ノ七)

— 況園會 (一八四)

— の少い年 (四七七ノ四一)

花時の大 — (明治四十一年四月九日) (三八四ノ三五)

紅一降る (四三ノ六)

池亭春一 (山本松谷画入) 山下重氏 (二五八ノ二)

一 國兒童の戶外運動 (琴湖画入) 画報生 (三七九ノ

二八)

一 の大坂 洗線生 (三五九ノ一〇)

一 の名所 (江東の親) 金津の 一、西行坂の 一見、若古

屋の 一見) 高橋柯亭壽 (三二二ノ二六)

愛宕山下の雪景 (山本松谷画入) 花法生 (一五八ノ三)

岩代國大沼郡本郷村 一 中の風俗 (坂巻耕漁画入)

うきよ (二〇一ノ七)

越中國射水郡矢田村の藁 一 瓦山人 (二四七ノ六)

北信地 一 中風俗 清水真虎 (三五九ノ一〇)

北信地方小學生徒 一 中通學風俗 (四ノ二) 清水真虎

(三五七ノ一五)

雪打 聖壇 一 景圖 寺崎廣業画 (七一ノ卷末)

雪打

薩摩の 一 池田お作 (二四五ノ二)

雪合戦

金澤トヤマ遊 (二) 竹内南山人 (二〇八ノ二)

雪滑

青森の 一 (四ノ六) (四四三ノ七)

雪見

一 尾形月耕画、不忍池に美人 一 の画入) 高橋

おろか (三九ノ一〇)

親雪紀行 野口勝一 (二〇四ノ二六)

隅田川着雪の図 (六七ノ七〇、江戸歳事記ノ内)

遊行婦

— 考 炊亭小史 (四六〇ノ四五、四六一ノ一三)

雪渡り

會津の—と氷に— 春二生 (三二五ノ二四)

ゆきわたりさう 日獐牙細辛を見よ

愉快節

— 圖 (八〇ノ裏絵)

湯島神社

新撰東京名所圖會第十一編、各公園ノ内 (一五五)

ゆで出し鯉鮓賣

— 圖(大) 多稼の屋 (一〇四ノ三八、江戸市中世渡り種

ノ内)

ゆで玉子賣

— 圖(大) 多稼の屋 (一〇四ノ三七、江戸市中世渡り種

ノ内)

湯女

— の事「圖(大) 高橋伺 (四二ノ四、時代文庫其二)

湯野濱温泉

— 河名文由 (二六五ノ三三)

温津温泉 (加賀國能美郡栗津村)

— 丸谷きりの字生 (三六六ノ三八)

湯ノ山温泉 (伊勢國三重郡菟野)

— 伊達虎峰 (四四九ノ二三)

湯ノ山八景 花鳥亭風月 (三二四ノ三四)

湯花神樂

五月十五日山王 — 園 (五ノ二、嘉永年中行事ノ

内)

弓場始

御 — の式 近藤義立 (八三ノ四)

指輪

— の由来 渡邊天香 (三九四ノ二)

夕霧

— 大夫の事 時雨庵琴山人 (四〇ノ二四、四一ノ二、四二ノ一)

二六)

夕立

驟雨中市街の光景 花法生 (一九四ノ六)

弓 弓大 — 弓土 — 弓楊 — をも見よ

弓職

— 園 尾形月耕画 對原堂主人解 (七三ノ一〇)

弓と矢賣

薩摩 — 鹽雜舎主人 (三〇七ノ一二)

由美希賢

双百先生の傳 三田村玄龍 (四〇八ノ二九)

湯本温泉 三日光を見よ

熊野

御前の遺跡 本間永箏 (二五八ノ三二)

湯屋 湯浴場を見よ

湯屋の本指し

—「四ノ」 花渡生 (一三二ノ三、江戸市中世渡り種ノ

内)

由良

—の浦芭「四ノ」 文屋ていり (一六〇ノ一〇)

硫黄製煉器

—の新發明「四ノ」 太田右衛門 (一八七ノ一八)

三

夜商人

— 田口年信画及解 (二五六ノ五、浪花風俗百圖ノ

内)

夜遊

土佐國の — 火田生 (一七四ノ一四)

四五百森 (伊勢松坂)

— 千種堂婦娥 (四〇〇ノ二七)

夜顔

—「四ノ」 久永章武 (一九六ノ二〇)

夜着

ヨアノヨキ

五五ノ十

片袖 — 「田入」 内藤真佐志 (六六ノ二)

浴恩園

— 千秋館図 丸山瑞雨模写 (一一ノ首)

— 花の下道、色香の園の図 (一四ノ首)

浴場

— の事 原田櫻柳 (四七ノ二四、四八ノ一二)

青森市の — 「田入」 (三九七ノ二〇)

混堂「田入」 醉霞居士 (七三ノ一二、七六ノ九、七七ノ一二、七九ノ

一一)

大正風呂談義「昔と今の銭湯」田入 留桶山人 (四五〇ノ

七)

八十翁昔物語所載風呂屋「田入」(類風呂) (四二ノ四)

風呂の事「田入」 高橋おろか (四一ノ一〇、時代文庫ノ

内)

湯屋の二階「田入」 桔梗 (三二ノ八)

横穴

穴居時代の痕跡「田入」 佐藤古玩 (一五〇ノ三八)

横須賀造船所

大日本相模園 — 全圖 (四四ノ二〇)

横濱

— 開港五十年祭 (三九九ノ一〇)

— 市開港五十年記念祭写真 (三九八ノ内)

— 市の大火(明治三十二年八月十日)「田入」 (一七七ノ一)

— 名所図会 (二五七)

蟹港七不思議 横行生 (四六五ノ四二)

與吾連太夫

——「四六」 渡部乙羽 (四六一六、江戸市中世渡り種

其四ノ内)

吉岡重次

彫工重次 (二四九ノ五)

よしきり

刺葦 久永章武 (二四ノ一八)

刺葦ハ就シ 甚の家 (一一一ノ四、一一二ノ二)

吉田進風

相撲行司——由緒 (四八ノ九)

吉野

加賀國——十景 池田カケル (一五二ノ三二)

吉野山

よしの八景 蓋山忠士 (四三三ノ三〇、四三四ノ三五、四三五ノ

二八、四三七ノ二九)

吉原遊廊 遊女ガ細見「三」移解をも見よ

享保年間吉原大門の圖及解 (二六ノ七)

曲中年中行事「四六」 喜多川歌麿画 十返舎一九記

(六九ノ八、七〇ノ二七、九三ノ七、一一〇ノ一〇、一一二ノ五)

廊の花 山下重氏 (二二〇ノ九、一二二ノ五)

古今廊奇談「四六」 (四六ノ二三)

新吉原、新撰東京名所圖会第五十八編、浅草区一都其五

(大日本名所圖会第五十九號、明治四十二年九月發行)

新吉原火災年表 三浦おいろ (四二〇ノ二五)

新吉原の年礼「喜多川歌麿画入」 笠の家 (六三ノ一七)

衰頹せる吉原 (四五八ノ五五)

たそがれの吉原(今夏の燈籠)「喜多」 (四六〇ノ首)

天明年間遊廊風俗(客衆肝膽鏡) 山東京傳著並画

(八八六、九〇ノ八、九三ノ九、九五ノ一六、九七ノ五、九九ノ六、一〇一、

一一、一〇八ノ九、一一三ノ一三)

芳原逸話 方寸舎 (四六七ノ三一)

吉原起原 (二六ノ七、二七ノ六)

吉原歳暮の餅搗「喜多川歌麿画入」 わ、ま (六三ノ

二七)

六樹園飯盛手栴同持吉原十二時狂詩歌解釋

文の屋 (四四一ノ一七、四四二ノ三〇、四四三ノ一一、四四四ノ一三、四四五、
一五、四四六ノ一八、四四七ノ二五)

吉原庄司登

—「圖入」 星橋主人 (二五二ノ二二)

吉原燈籠

—「圖入」 (六五ノ四九、江戸歳事記ノ内)

玉菊の燈籠と双星 尾形月耕画 (九五ノ表紙)

吉原夜櫻

新吉原の夜櫻「松平洗目口絵」 山下重氏 (一八七ノ三)

吉見百六

—「松山城址」 八木橋仲秋 (二五三ノ二九)

興次郎

——「四ノ」 (六三ノ二五、元三名古屋、物置ノ内)

寄席 カシメ義大丈を山見よ

——の木戸錢 (四九ノ三三)

大坂——幾代亭「四ノ」 田々年信 (三四ノ七)

夜蕎麥賣

—— 宮島春齋 (一五〇ノ一六、京都賣物屋、風俗ノ

内)

——「備ノ」 多稼の屋 (二〇四ノ二八、江戸市中世渡り種

ノ内)

夜鷹

——「岡」 渡部乙羽 (六二ノ六、江戸市中世渡り種ノ内)

奥治郎稲荷

秋田——の由來 旭水樓主人 (一四六ノ三五)

四日市

伊勢——近傍の田積 廣瀬涼風 (二六八ノ三四)

伊勢——の年末と年始 伊達虎峰 (四五三ノ七三)

四日市米穀取引所継續祝賀會

—— 伊達虎峰 (二七九ノ一三)

四日市茶

伊勢の二茶典 伊達虎峰 (四五〇ノ三二)

四手駕籠

——「四ノ」 志づか (一三五ノ三一、江戸市中世渡り種ノ

内)

四谷區

新撰東京名所図会第三十九編、第四十編——二部

(二七七、二八〇)

四谷見附

四谷門址「伊東白楊画入」 山下重氏 (四五〇、一、東京

の今昔ノ内)

澁橋小學校

—の大傍事 画報生 (二七六ノ三八)

澁橋町

— (大日本名所図会第九十號、東京近郊名所図会

第十五、西郊の部其三ノ内)

—の補遺 (大日本名所図会第九十一號、東京近郊

名所図会第十六、西郊の部其四ノ内)

夜泣いど

—「雨入」 澁田如洗 (三五七ノ二、京都の物賣ノ内)

夜番

維新前— 田口年信画及解 (二七九ノ二、浪花風俗

百圖ノ内)

呼子笛

瑞雪庵青坂翁と大石良雄使用の—「画入」 高橋鳴

鶴 (四一八ノ三二)

夜考り

—八景(淡草) 朝櫻樓國芳画 (四五六ノ首)

—八景(四や石町) 卯櫻樓國芳画 (四五九ノ首)

—八景(一、目) 朝櫻樓國芳画 (四五五ノ首)

— 八景(ま)さき

— 勇齋園芳画

(四五八、首)

— 八景(四日市)

— 勇齋園芳画

(四五四、首)

夜見世

「古着」— 七見よ

嫁入祝配物

— 田口年信画及解

(二二二、二、浪花風俗其二)

嫁の誓いの詞

— 画報生 (三五九、一、二)

代々晴村

— (代々井、山谷、晴ヶ谷)

(大日本名所図会第九十號)

東京近郊名所図会第十五、西郊の部其三ノ内)

萬物作

信濃 — 鳥追い

小山珍事堂 (三八一、九)

鎧着初の式

— 「甲」 川崎千虎 (二〇六、八)

大 — 「甲」 (三八五、三六)

軍服着初の式 山下重氏 (二〇〇、一、二)

源平時代小桜威鎧着用式「坂巻耕漁画口絵」 橋本桂

梗 (三五七、六)

土州若殿 — 「甲」 田口年信 (二三八、一、三)

鎧職

— 圖 尾形月耕画 對原堂主人解 (六九、一、二、

新撰百工圖其二十三)

鎧の渡

— 上 鎧橋「田坂青郊画入」 山下重氏 (四四八、九、

東京の今昔ノ内

Blank page with vertical lines for writing.

雷

雷ノ見よ

ヲ

來迎會

三月十四日新鳥越念佛院—圖

(六一、江戸歳事記)

ノ内

賴山陽

—の墓 一風庵 (三二八ノ三九)

—の墓(圖) 塙忠韶 (三二六ノ三八)

賴萬四郎

—の贈位 (四〇〇ノ五)

雷除

ヲイ

—— 學齋主人 (二七三ノ四三)

らりすけり

—— 圖入 渡部乙羽 (四六ノ一五、江戸市中世渡り種

其二ノ内)

勞働者 江戸上方と見よ

勞働者大懇親会

—— 圖入 花溪生 (二三〇ノ一一)

牢獄

河鍋曉齋獄舎談(曉齋画入) (二〇ノ二七)

獄舎の新年 香雪 (二六二ノ一四)

牢屋敷、石出帯刀(四ノ一) (二三〇ノ二、新撰東京名所図会

第二十六編、内)

落雁

—— の製法 伊達虎峰 (三一〇ノ一四)

落語

—— 圖入 大田才次郎 (一〇〇ノ三三)

落語家

現今 —— の收入 (四七八ノ三三)

新家(四ノ一) 渡部乙羽 (四七ノ二四、江戸市中世渡り種其

三ノ内)

落首

—— 考 上地信成 (二六一ノ三八)

—— 圖入 槐園主人 (二六四ノ四六)

鹿島の —— 盧園家主人 (四六一ノ一七)

ラウ

五三三十八

寛政の落書 水、ま (四一、一七、四二、二一)

建武の落書 (四ノ一九)

流行落書 大橋乙羽 (二ノ二〇)

樂助人形廻し

—「更」 (六三、二五、元三各古屋の物買じの内)

落成式

上種注 — 「古園入」 山下重氏 (二〇〇ノ六五)

樂燒

— 物語 柳原義光 (四六八ノ二二)

臘虎

— 臘肉ニ獸臘因テ 野口勝一 (一〇八ノ二〇、一一〇、一一一、一二二、一七)

蠟 蠟燭をい見よ

蠟石細工

岐阜縣不破郡赤坂村の — 川崎隆一 (二八三ノ二一)

蠟燭職

— の圖 尾形月耕画 對厚堂主人解 (四五ノ一六、

新撰百工圖解其六)

蠟燭問屋

— 岩田鸚鵡 (五七ノ二一)

蠟燭屋

— 「更」 (八五ノ二一、江戸市中世渡り種ノ内)

蘭

— の培養法 久須見久高 (九三ノ二四、九五ノ二七、一〇二、

ラフリー

考三九

(一七)

蘭草と——との異同辨

すみ生 (二九ノ一五)

蘭者待

—— 芝山道人 (五五ノ二六)

洋燈賣

—— 宮島青齋 (一五二、一九、京都賣物屋風俗、内)

龍

子辰と見よ

—— 武田醉霞 (四七六ノ九)

—— 傳次所翁画 (四七六ノ附録)

—— と名称 千種堂婦城 (四七六ノ三三)

—— に因める社寺 伊達虎峰 (三八三ノ三二)

—— の事 曉花生 (四七六ノ二四)

—— の説(遠州頭陀寺)の首 (四七六ノ四)

—— の織維的觀察 森田文也 (四七七ノ三三)

辰と—— 土の屋 (四七六ノ六)

辰(一)百種 (四七六ノ五)

リウ

五十四

流行品

「洋服」の流行物を見よ

貴金屬及美術袋物類の——「四六」 花渡生（一七〇）

二八

京都の流行 画報子（二二二、二四）

京都の流行 霞蝶園主人（二三〇、二六）

新流行品（八二、一〇、一五、一七）

東京の流行物 画報子（二二二、二一、二四、一九、二六、

二二、二二、二九、二二、二七、二五、二〇、二五、二四〇、

二三）

流行節 「流行唄」を見よ

龍眼

—— M.H.生（二三七、一五）

龍眼樹

——（一話一言抄）（四七六、四八）

——（四七六、三八）

琉球 子沖繩を見よ

——首里 坪川辰雄（二二二、二五）

——の新年 「新年を見よ」

——の風俗 紅葉生（二二五、一一）

琉球塚

遠州渡松の—— 本間天岳（三一〇、三三）

龍宮

—— 曉花生（四七六、二四、龍の事ハルノ内）

柳谷寺観音

リウ

五十四十一

山城 — 三輪青谷 (一四二、一二)

龍虎隊

極寺の — 岳東醒客 (四五三、一七)

龍骨

— 「固」 木内桂華 (三三、二五、讚岐に於て見たる云々

、内)

龍燈

— 曉花生 (四七六、二五、龍の事とル、内)

— 物語 (四七六、五九)

流燈會

隅田川 — 画報生 (三七、二二)

隅田川 — の圖 富岡永洗画 (二八、二)

龍門亭

前 — 記 川崎茶六 (五八、六)

後 — 記 華六庵 (八五、二六)

龍王山 (下野國安藝郡新倉村)

— 巡溪 (三五九、三四)

狸謀 〃 俗謀を見よ

陸軍 〃 歩兵隊士 〃 練兵を也見よ

— 服制圖繪 (五四、内)

旧幕 — 〃 兵西國大虎の見世物小屋を繪かす圖

大竹政直画 (二四、一〇)

旧幕府の — 蓬軒居士 (二二、二七、二四、二二、二六、

三、一、二五、七、一、二七、五、一、三〇、九、一、三七、一、一、三三、七、九、一、四〇、

列國聯合軍——服裝の圖 黒崎修齋画 (二二五ノ内)

陸軍演習

愛知縣陸海軍大演習圖及解 柳源吉画 (二九ノ三)

攝河泉、特別大演習「圖入」 火田生 (一七八ノ四)

大演習御統裁 (四〇三ノ二六)

陸軍特別大演習(明治四十四年)「写真」 (四二七ノ三八)

陸軍特別大演習 (四三九ノ二〇)

陸軍特別大演習「写真」 (四四〇ノ二五)

陸軍特別大演習記事(明治二十五年十月宇都宮附近)「圖入」 (五四ノ内)

狸講 俗講を見よ

立江寺

阿波國——由来 子坊生 (二六一ノ二四)

立石寺

寶珠山——河名雅齋 (二五六ノ四〇)

理髮

散髮の始 江本定男 (四六八、七、風俗閑話ノ内)

流行、—— さくさ (二四九ノ一三)

理髮業

臺灣土人、——「写真」 澤野 童 (三六六ノ一八)

理髮店

今、理髮店画 富岡水洗画 (一八ノ裏絵)

松富町の面店 浅野青牛 (四五九ノ二六)

諒閣

—の元旦各地の實況 (四四二、四)

兩精店

—竹原 木の屋 (三九七、三八、見聞記憶の儘ノ内)

兩國川関

—「写真入」 (四七二、四二)

—圖 廣重画 (三一、首、東都名所年中行事ノ内)

—の景況 (四〇〇、四)

—の圖 山本松谷画 (一五九、一四)

川関 社会散士 (三〇、六)

享和年間 —の圖 喜多川歌麿画 (三〇、首)

戦時の川関 画報生 (三二四、三)

東都 —の圖 歌川豊国画 (四五九、首)

兩國橋 細涼を以て見よ

—「古圖入」 (二二二、二九、新撰東京名所図会第二十

七編ノ内)

—附近の納涼 山下重民 (四六一、一二)

今は昔兩國の夕涼 (四三七、一九)

新 —関橋式「写真入」 画報生 (三〇七、二二)

東京 —の事変(明治三十年八月十日)「山本松谷画入」

(一四八、三)

靈山

岩代 — 渡邊柳塘 (二四〇、二四)

凌雲閣

リョウリン
(三三ノ一二)

旅行 「留守居をい見よ」

—— 雑話 箕村東芝 (一六六ノ三七)

旅の種々 仰天子 (四六〇、五、四六一、九、四六三、六)

旅装

古代男女——の圖 (一〇一、四)

中古出家——の圖解「周」 卯田丹陵 (六六、一〇、七九、九)

七三、五)

旅順表忠塔

——の落成式「写真」 (四〇、四、七)

輪王寺 「日光をい見よ」

ル

留守居

昔の旅の留守心得 和歌屋満 (四六七ノ一四)

留守居役

諸藩—— 蕉眉山人 (四三、四、四四、三)

ル

冷蔵庫

—の話

編瀬駿 (三六九ノ一七)

禮式

小笠原七—写真

坪川辰雄撮影 (三七七ノ一八)

禮者

「五年礼をい見」

門—「因入」

渡部乙羽 (五〇ノ一三、江戸市中世渡り)

種其五ノ内)

年始客圖

洗目画 (六三ノ首) 乙羽解 (六三ノ二〇)

禮服

「正紋附衣服をい見」

料理

「鳥の燭燭焼」の辨當をい見」

レイルレウ

五十四十六

一番附 (五ノ一六)

秋の庖厨 河名土助 (三二六ノ二三)

秋元涼朝の会席献立 桔梗 (三四六ノ一七)

梅の—— 伊達虎峰 (三二二ノ二三)

奥家婚儀の献立 画報生 (三五四ノ二九)

割烹百種「肉」 石井泰次郎 (一七六ノ一七、一七八ノ三八、

一八〇ノ一九、一八二ノ二一、一八七ノ一六)

侯爵山内家婚礼式の献立 石井泰次郎 (二三二ノ三〇)

五十三驛—— 柄井川柳 (三一〇ノ一〇)

献立大内山 (四〇三ノ二九)

澤村農學博士——談 (三九九ノ二三)

實用西洋——法 割烹斎主人 (三七九ノ二〇、三八一ノ二〇、

三八三ノ一九)

支那—— 大田才次郎 (一〇〇ノ四九)

正月の重誥 画報生 (三三〇ノ二〇)

將軍家式用—— 星橋主人 (三一四ノ一五)

浄瑠璃文句—— 蓮阿弥 (三三ノ二二)

新年の重組—— 春庭舎すみれ (三五五ノ二一)

西洋—— 大田才次郎 (一〇〇ノ四八)

醍醐寺進献三種—— 玉園快石 (五〇ノ一八)

臺灣——の御馳走 永井根津雄 (三七二ノ二一)

帝國——の日本松谷画入し 山下重氏 (一〇〇ノ四四)

土用中の—— 調理生 (一七〇ノ一四)

剥物—— 画報生 (三五五ノ二一)

料理店

了飲食店 了茶漬屋 了和源の店 了見よ

江戸近代の 一 一 玩味生 (三二八ノ二)

江戸名物深川の 一 一 平清、廢業 画報生 (三五〇ノ

四〇)

獵師

薩摩 一 猪鹿の靈を祭る 鹽雜舎主人 (三一四ノ四)

聯合せ

一 一 の要(因大) 鷲亭金平 (四四一ノ三三、四四三ノ四七)

連歌

千代田城 一 一 儀式 蓮軒居士 (二〇二ノ八)

煉瓦師

一 一 圖 (四六ノ裏絵)

蓮華寺 (近江國坂田郡息郷村)

八葉山 一 一 西川権三 (三一〇ノ三二)

蓮花頭 了竹生島辯才天女蓮花会を以見よ

竹生島 一 一 峽陽山人 (三二ノ一二)

連鎖劇

新産物たる大正の 一 一 小倉白洋 (四七八ノ二九)

練兵

旧幕時代備調練の定至貝太鼓之事(加賀藩) 五峰庵 (二五五ノ四八)

羅馬法皇特派使節

御來京の——寫真—— (四七八、首)

六

——盡し左右競(壽附) (四三二、五〇)

六阿彌陀詣

——の梨 (大日本名所圖會第七十七號、東京近郊名

所圖會第二、北郊の部其二ノ内)

彼岸——圖 (六一、江戸歳事記、内)

六鄉村

—— (大日本名所圖會第六十六號、東京近郊名所圖

会第十一、南郊の部其五ノ内)

六部

—「園入」 渡部乙羽 (四ノ一七、江戸市中世海) 種

其四ノ内)

露國太公 (ハオルジ、ミハイロ、ウキツキ太公)

—の御入京「写真」 (四七、田〇)

露店

— (二〇ノ一三)

爐開

— 芝山道人 (一〇二ノ五)

ワ

輪入れ遊び

— 太平居士 (二八ノ二〇)

賄賂

— 役徳 蓬軒居士 (二六八ノ六、二七三ノ九)

王子稲荷 二初午をい見よ

— 考詣圖 山田敬中画 (六六ノ表紙)

王子考の圖 廣重画 (二七ノ首、東都名所年中行事)

内)

王子神社

新撰東京名所圖会第十一編、各公園ノ内 (一五五)

祭礼

—の典樂「百人」 新井正毅 (九ノ一四)

—の田樂踊「百人」 (四三九ノ六)

觀王子神社田樂記並考證 山下重民 (七六ノ三)

王子名主ノ瀧

—「写真」 (四六〇ノ首)

王子町

— (大日本名所図会第七十八號、東京近郊名所圖

会第三、北郊の部其三ノ内)

和歌

歌行脚 栗崎定 (四二九ノ三五、四三〇ノ三一、四三一ノ四〇、

四三二ノ三六、四三三ノ三三、四三四ノ三八、四三五ノ三〇、四三七ノ三一、

四四八ノ二六、四四九ノ三三、四五〇ノ二七、四五一ノ二五、四五二ノ二四、

四五三ノ二三、四五六ノ一九、四五九ノ二三、四六〇ノ二〇、四六四ノ二三、

四六五ノ二二、四六六ノ二二、四六八ノ一七、四六九ノ一七、四七〇ノ三三、

四七四ノ一三、四七五ノ四一、四七六ノ四四)

みちのくの歌のひとよし しがたみ (四五〇ノ二二)

若夷賣

—、附依辻、毘沙門辻 (二二四ノ四一、民間行事新年の

祝ノ内)

若衆

田野郎をル見よ

寛政年代大書遊興の圖 西川祐信画 死涙生解

(一三三ノ七)

若菜

七種菜 (二二四、四三、民間行事新年の祝ノ内)

若菜賣

一 圖 (三八、久保田米僂画、維新前京都正月ノ様ノ

内)

若菜摘み

一 圖六 花渡生 (二三四ノ三、江戸の春ノ内)

若松城

一 圖六 (一〇ノ一)

若水

一 圖 榮曉画 (六三ノ首) 乙羽解 (六三ノ二九)

一 事 荒本田見重 (二二五ノ三、五十鈴の落葉ノ

内)

汲 一 圖六 (二三四ノ一、民間行事新年の祝ノ内)

羽前山形の 一 市村釣月 (六三ノ二五)

若宮ハ情

能登園 一 成長祭 池田カケろよ (三二七ノ三)

和歌山城

一 川北麗亭 (一三四ノ二)

和倉温泉 (能登園)

一 西報生 (三四九、二四、三三〇ノ三一)

能登園 一 池田カケろよ (二四六ノ三〇)

鬘 河頭髪をい見よ

婦人の 一 鴉夢生 (二四四ノ二、二四六ノ一八、二四八ノ二〇、

一五〇ノ一九、一五二ノ三)

和氣清磨

和氣公誦所紀念碑

鹽雜金 (二四〇、二八)

倭奴

— 志外篇

後藤秀穂

(四〇〇、一九、四〇一、二九、四〇二)

二九、四〇三、三一)

— 虫ハ就て「因六」

後藤肅堂

(四六六、九五)

— 船説「因六」

後藤秀穂

(三九八、三三一)

— 因説「因六」

後藤秀穂

(三九七、三四)

— 因説

後藤秀穂

(四六五、二)

和琴

東遊並—事

(三一、三)

和算

本朝算術の起原

江本定男

(四七〇、七、風俗閑話ノ

内)

輪島

能登國—所の大空

五峰庵

(二五三、四)

早稲田大學

— 開校式と提灯行列「因六」

牛童

(二六〇、九)

綿打職

— 因

尾形月耕画

蓮池畔人解

(九五、一三、新撰

百工圖其三十五)

新撰百工圖—ハ就て

抱海堂主人

(一〇八、二七)

渡船

伊佐屋—

ヨリ竹屋—

ヨリ鑑の渡を以見よ

韓江—「因六」

画報生

(三一八、七)

渡り初

橋架換——の事

堀田幸錦 (四四ノ二)

渡り初の式

——(紀伊國有田郡八幡村山岩倉神社の神事)

栗山

寛一 (三七ノ一四)

渡り鳥

——及高ツルギ楹

久永章武

(一五二ノ九)

和服

「子衣服を見よ」

草鞋賣

人ぢしり——「西ノ」

柔六庵 (一七六ノ五)

童遊い

「子遊戯を見よ」

笑ひ奈

和佐り——

栗山寛一

(六二ノ六)

和佐り——

栗山寛一

(一〇二ノ五)

われから

——の事「因入」

よし「や秋風」

(六ノ九)

和霊奈

宇和島の——

(三八ノ一六)

宇和島の——

(四一四ノ九)

終